

孤独・孤立対策で連携！ 居場所を利用する子どもたちと企業との「食」を通じた交流会を実施します

県では、孤独・孤立対策推進法の理念に則り、「かながわつながりネットワーク（神奈川県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム）※1」を設置し、孤独・孤立の状態になることへの予防や地域での緩やかなつながりづくりなど、多様な担い手間による連携を推進しています。

この度、構成団体である NPO と民間企業が連携して、居場所を利用する子どもたち向けに、食育講座や食事会を通じた交流企画を実施することとしましたのでお知らせします。

1. 事業概要

NPO と民間企業が連携して、居場所を利用する子どもたち向けに、株式会社ツルハの管理栄養士や株式会社ファンケルの従業員による食育講座や、参加者同士の食事会を通じた、人々とのつながりを感じる交流会を行います。なお、食事会では株式会社ファンケルからの寄附食材を活用したメニューでの提供を予定しています。

- | | |
|----------|---|
| (1) 目的 | 居場所を利用する子どもたちが、社会で活躍する大人たちとの交流体験を通じて、社会や人々とのつながりを実感することを目的とする。
また、多様な担い手間の連携による地域でのつながりづくりを創出することで、孤独・孤立対策や緩やかなつながりづくりへの機運醸成を図る。 |
| (2) 日時 | 令和7年9月 29 日(月曜日) 16 時 30 分から18 時 00 分 |
| (3) 場所 | 川崎市多摩区宿河原 6-26-24 フジビル 1 階
コミュニティスペースえんくる |
| (4) 対象 | コミュニティスペースえんくる利用者 15 人程度(小学生2年生から6年生) |
| (5) 実施主体 | 認定特定非営利活動法人フリースペースたまりば(かながわつながりネットワーク構成団体)、株式会社ファンケル、株式会社ツルハ ※2 |

2. 取材について

取材にお越しいただく場合は、9月 24 日(水曜日)17 時 00 分までに下記問い合わせ先へご連絡ください。

※1 かながわつながりネットワークについて

孤独・孤立対策に向けて、産学官民など、多様な地域の担い手が相互につながり、水平的な関係での連携・協働を促進するとともに、地域におけるつながりづくりの先進的事例やノウハウなどの情報を収集・蓄積・共有することを目的としたプラットフォームです。

(構成団体数 35 団体(令和7年7月 30 日時点))

※2 実施主体について

(1) 認定特定非営利活動法人フリースペースたまりば

県内(主に川崎市)で、子ども・若者と様々な体験をしながら共に育ち・学ぶ居場所づくりや、食料支援等に取り組む。

法人 HP <https://www.tamariba.org/>

(2) 株式会社ファンケル

化粧品・健康食品の研究開発、製造および販売に取り組む県内事業者。

法人 HP <https://www.fancl.jp/>

(3) 株式会社ツルハ

全国で医薬品等の販売等に取り組む事業者。

法人 HP <https://www.tsuruha.co.jp/>

<SDGs の推進について>

県では、SDGs の達成にもつながる取組として、孤独・孤立対策の推進に取り組んでいます。



ともに生きる社会
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます



問合せ先

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部

生活困窮者対策担当課長

田巻 電話 045-285-0864

生活援護課生活困窮者対策グループ

田畠 電話 045-285-0190

ともに生きる 新子